

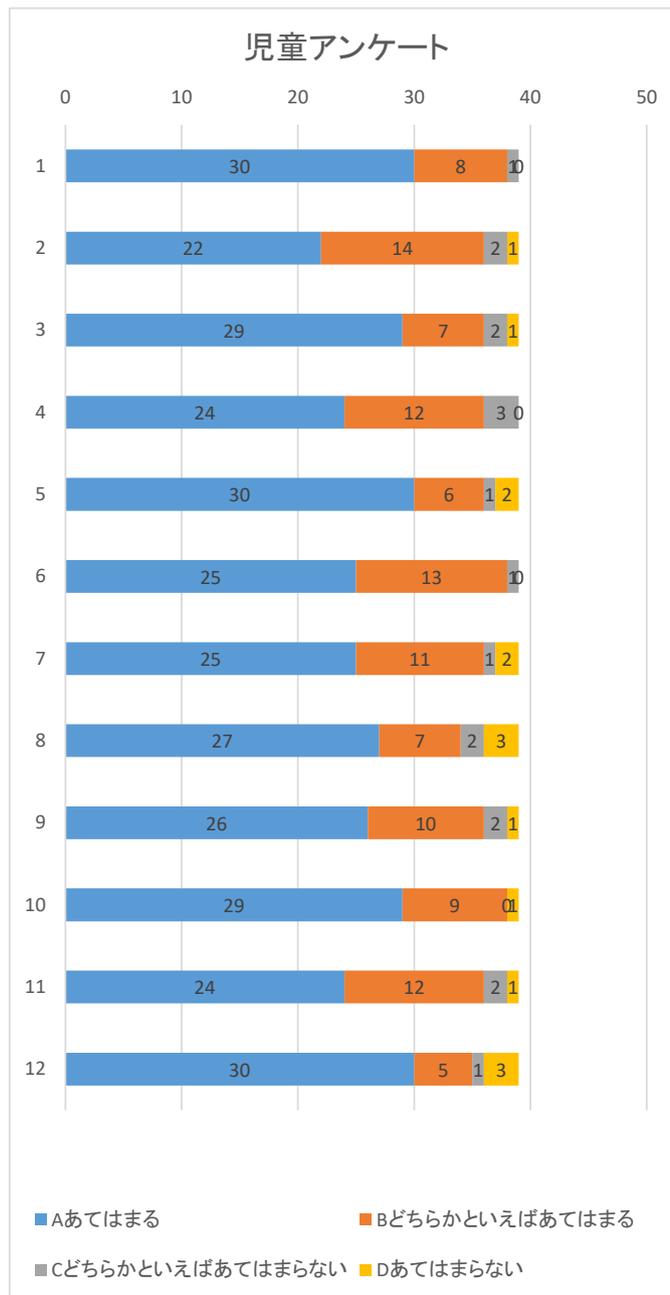
令和2年度前期 学校アンケートの集計結果

霜秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、たいへん遅くなりましたが、7月に実施しました保護者アンケートの集計結果をお知らせいたします。アンケートを受けて、2学期以降、改善に向けて努力しているところです。12月には、後期のアンケートを実施する予定です。

(1) 学校アンケート(児童)

項目
1 学校へ行くのが楽しい
2 「学びの約束」に気をつけて授業を受けている
3 授業がわかりやすい
4 授業では、自分の考えを伝え、友達の考えを聞いて考えを深めている
5 家庭学習に丁寧に取り組んでいる
6 すすんであいさつができています
7 友達に対して思いやりの心で行動できています
8 自分にはよいところがあると思う
9 健康に気をつけ、規則正しい生活を身につけている
10 先生は困っていることについてしんげんに聞いてくれる
11 いじめや暴力のない安心安全な学校だと思う
12 家の人と学校での出来事について話を



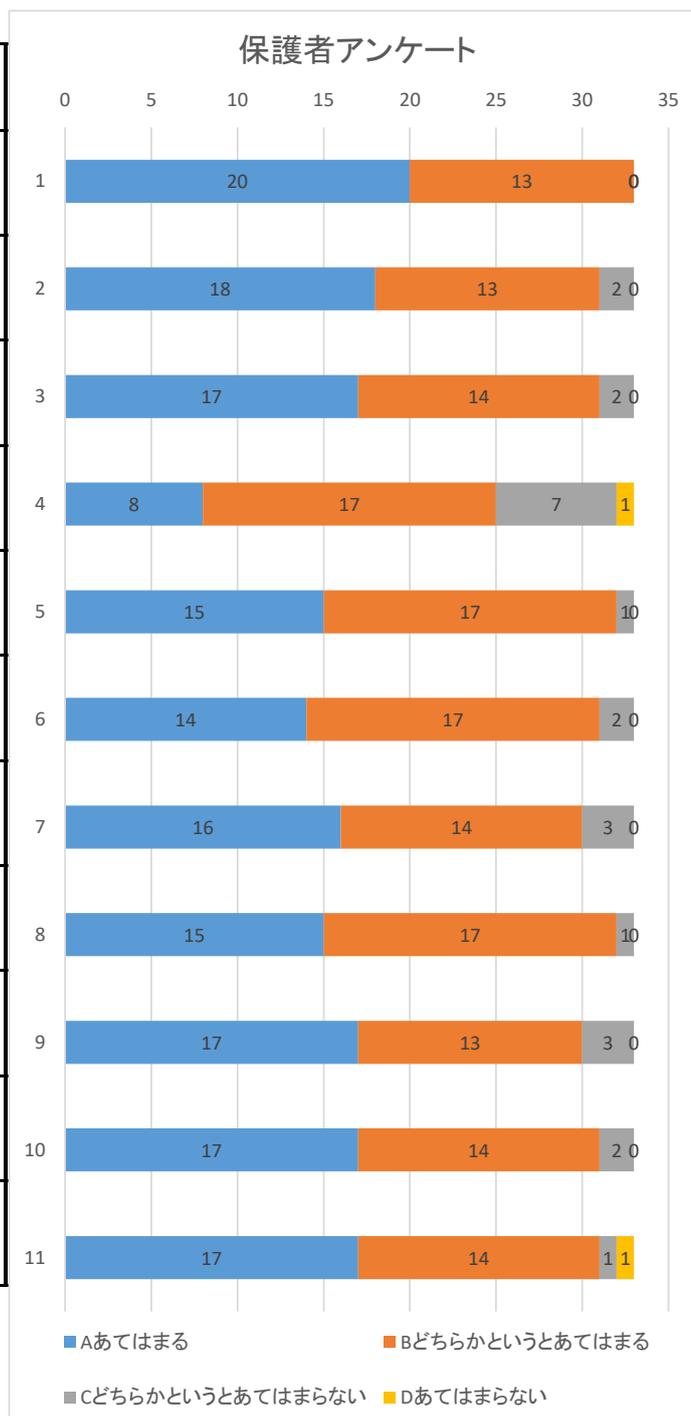
A+Bの割合		
2019年12月	2020年7月	
1	95.0	97.4
2		92.3
3		92.3
4	92.0	92.3
5	98.0	92.3
6	100.0	97.4
7	95.0	92.3
8		87.2
9	96.0	92.3
10	95.0	97.4
11		92.3
12		89.7



全項目において概ね良好な結果が出ています。項目8でCD評価をした児童が多かったの
で、自己有用感を高める取組を一層意識する必要があります。2学期に入り、運動会や白嶺祭
の取組を通して、一人一人の出番を持ったり、共感的な人間関係を築いたりする機会を持つこ
とができました。

(2) 学校アンケート(保護者)

項目
1 お子さんは楽しく学校に行っていると思う
2 お子さんはしっかりと授業を受けていると思う
3 お子さんは授業がわかりやすいと感じている
4 お子さんは家庭での学習が十分にできていると思う
5 お子さんは進んで挨拶をしていると思う
6 お子さんに思いやりの心が育ってきていると思う
7 お子さんは自分によいところがあると思っている
8 お子さんは規則正しい生活をおくれている
9 学校はお子さんのことについて、いつでも相談に応じてくれると思う
10 学校は、いじめや暴力のない安心安全な学校づくりに取り組んでいると思う
11 学校のようなすがお便り等でよくわかり、お子さんと話もするほうだと思う



A+Bの割合		
2019年12月	2020年7月	
1	98.0	100.0
2		93.9
3	95.0	93.9
4	86.0	75.8
5	90.0	97.0
6	100.0	93.9
7		90.9
8	90.0	97.0
9	96.0	90.9
10	92.0	93.9
11	93.0 96.0	93.9

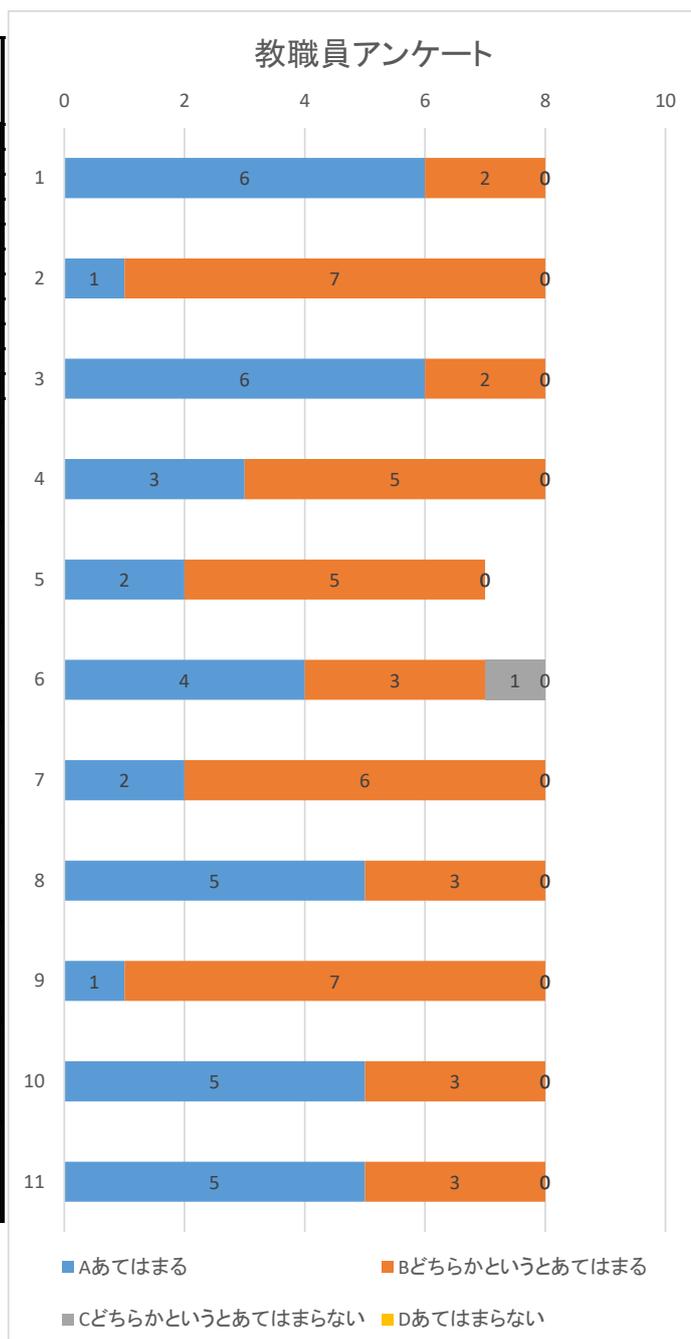


全体的に高い評価を得られています。項目4に課題が見られます。児童アンケート(5)との関連も考慮して、家庭でも主体的に取り組めるよう、3年生以上は宿題に加え自学を奨励しています。

あいさつも含めて、規則正しい生活を送る項目の評価が高くなっています。保護者の方々の意識が高いおかげで、子どもたちの生活習慣に向上が見られます。ありがとうございます。

(3) 学校アンケート(教職員)

項目	
1	児童生徒全員が楽しく学校に登校できるように手立てをしているか
2	児童生徒の授業規律はよいか
3	授業がわかりやすいよう課題設定に気をつけているか
4	授業では、根拠や筋道を明確にした発表や学び合いをさせているか
5	児童生徒が家庭での学習を進められるような手立てをしているか
6	場に応じた挨拶ができるよう指導に取り組んでいるか
7	道徳教育の推進等で思いやりの心が育ってきているか
8	自己有用感を高めるような指導・関わりをしているか
9	児童生徒は規則正しい生活を身につけているか
10	「学校いじめ防止基本指針」の基づいて、いじめの防止と早期解消につとめている
11	働き方改革を進めた結果、実際に労働時間や内容が適正になっているか



A+Bの割合	
2019年12月	2020年7月
1	100.0
2	100.0
3	100.0
4	100.0
5	100.0
6	87.5
7	100.0
8	100.0
9	100.0
10	100.0
11	100.0

おおむね高い評価になっていますが、項目2、4、6、7、9については一層の向上をめざし手だてを講じている最中です。たとえば、項目6「あいさつ」については生徒指導面で委員会、中学生とも連携して取組を行い、あいさつの質の向上が見られています。